

大学基準協会からの助言・勧告



大基委相第170号
平成13年3月6日

近 畿 大 学
学 長 野 田 起 一 郎 殿

財団法人 大学基準協会
会 長 丹 保 憲



貴大学の相互評価の認定に関する件について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、貴大学の相互評価認定に関する件につきましては、平成13年3月6日開催の評議員会および理事会において満場一致をもって承認されましたので、同封の「近畿大学に関する相互評価結果」のとおりご通知いたします。

上記「結果」におきましては、貴大学の一層の充実向上を期待するため、助言、勧告、および参考意見を付しておりますので、その点もよろしくご高配下さいますようお願いいたします。

本来、維持会員は、勧告等の有無にかかわらず、自らの大学の掲げる理念・目的を達成するために、自主的かつ恒常的にその質的水準の向上を期して努力すべきはいうまでもありません。このたび「勧告」あるいは問題点の指摘に関する「助言」の付せられた大学におかれましては、「勧告」の趣旨に添った対応策を講じられるとともに、「助言」の趣旨も可能な範囲で参酌され、その改善実施の概況に関して「改善報告書」をお取りまとめの上、平成16年7月末日までに本協会会長宛にご提出願うこととなっております。

なお、貴大学の相互評価認定年月日は、平成13年3月6日付となりますので、何とぞご承引下さいますようお願いいたします。

敬 具

同封文書

「近畿大学に関する相互評価結果」

近畿大学に関する相互評価結果

I 相互評価結果

平成 12 年度相互評価委員会において、貴大学は、大学基準に適合し、かつ、改善の努力が認められるものとして相互評価の認定を行うことが適当である旨の評価結果が下され、また、評議員会および理事会において、同評価結果が満場一致をもって承認されたので、ここに貴大学の相互評価認定を行う。

II 助言・勧告

[1] 概 評

「人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成する」ことを建学の精神として、10 学部 42 学科 11 大学院研究科において、「広い教養に裏打ちされた人格とチャレンジ精神をもち、つねに未来を指向した実践的な学問、実学を旨とする」教育が行われていることは評価できる。また、多くの横断的センター・研究所を持ち利用者に便宜をはかっていることは評価できる。

一方において学生の定員超過や教員組織、教育負担、施設・設備等に関わる学部間のアンバランスについては、今後とも積極的に改善されることが望まれる。

なお、2001 年 4 月より、新たなシステムで出発する教養教育については、その教育目標が達成できるような全学的な努力を期待したい。

貴大学が日本有数の規模を持った総合大学としてその特色を十分に生かすためには、今回の自己点検・評価を一層深化させるとともに本協会の相互評価の結果に対し全学的・組織的に対処し、教育研究のさらなる改善に結びつけることが望まれる。

[2] 大学に対する提言

一、助 言

① 長所の指摘に関わるもの

- 1 商経学部では、積極的に留学生を受け入れている点、外国人留学生に対する奨学金制度が充実している点は評価できる。
- 2 商経学部において、女性の社会への進出を支援するために「女子特修課程」を

設けて教育課程編成上の配慮をしている点は、女子学生の積極的な受け入れと関連して評価できる。

- 3 理工学部では、学内の他の理工系学部・研究所との交流などが積極的に行われている。
- 4 薬学部においては、卒業実験の発表会の「論文優秀賞」授与制度などを通じ、学生の問題発見・解決能力の育成に努力している点は評価される。
- 5 文芸学部では、文芸の専門家・作家を専任教員に迎えたり、学外の専門家による公演や講演会を開催するなど、それぞれの学科独自の工夫がみられ、魅力ある学部作りに努めていることは評価される。
- 6 大学院総合理工学研究科における履修指導については、前期課程修了に要する30単位のうち8単位までは他分野、他専攻、他研究科、他大学院での履修を認め、幅広い視野を持った人材の育成に配慮している点は評価できる。
- 7 医学部においては、「チュートリアル教育」「クリニカル・クラークシップ」によってきめ細やかな教育が行われていることは評価できる。
- 8 「近畿大学リエゾンセンター」を中心とする大学全体としての地域社会への対応は評価される。
- 9 中央図書館では、地方史、地誌を重点的に収集し、さらに貴重図書を多数収蔵している点は評価される。
- 10 中央図書館には、パソコン、内線電話が装備された研究個室が設置され、一週間を限度として教員に貸し出しが行われていることは評価される。
- 11 奨学金制度は充実しており、学生指導に関する諸機能（ガイダンス、健康相談、就職相談窓口）も十分に機能していることは評価できる。
- 12 法学部においては、就職対策のための課外講座、語学講習会・講座等が設けられている点、早期にインターンシップ制度が導入されている点は評価できる。
- 13 通信教育部では、私立大学通信教育協会主催の合同説明会に参加するほか、延べ125会場での独自の説明会を開催するなど意欲的に学生募集を行っている点は評価できる。

② 問題点の指摘に関わるもの

- 1 大学基準協会、文部省からの勧告等に対し、多くの点で改善への努力が認められるものの、定員超過率の是正、教員の年齢構成の改善など、指摘事項への取り組みが遅れている点も多々あるので是正されたい。
- 2 以下の学部・学科においては、入学者に占める推薦入学者の割合が高いので是正されたい。

理工学部（化学科、応用化学科、機械工学科、金属工学科、経営工学科）

文芸学部（文化学科）

- 農学部（食品栄養学科管理栄養士専攻）
生物理工学部（電子システム情報工学科、遺伝子工学科）
九州工学部（生物環境化学科、建築学科）
- 3 大学院文芸学研究科英米文学専攻修士課程では在籍学生比率が低いので是正が望まれる。また、博士課程においても、以下の研究科専攻の在籍学生比率が低いので是正に努力されたい。
- 法学研究科（法律学専攻）
経済学研究科（経済学専攻）
総合理工学研究科（メカニクス系工学専攻、エレクトロニクス系工学専攻）
薬学研究科（薬学専攻）
医学研究科（生理学系専攻、病理学系専攻、社会医学系専攻）
工業技術研究科（物質化学専攻）
産業技術研究科（物質工学専攻、造形学専攻）
- 4 法学研究科においては、不開講科目が若干多いので、担当者の補充など、必要な措置が求められる。
- 5 各学部において、教員の一部に研究業績の少ない者が見受けられる。
- 6 工学部、九州工学部などは、理系にも関わらず助手が少ないので実習指導等を考慮して是正されたい。
- 7 九州工学部など、教員の担当授業負担が多い学部が認められるので是正されたい。
- 8 広島並びに和歌山キャンパスの図書館においては、閉館時間が早いのでその改善が望ましい。その他の図書館においても開館時間の延長に配慮することが望まれる。

二、勸 告

- 1 全学的に在籍学生比率が高いのは問題である。以下の学部学科は是正されたい。
- 一部法学部（2 学科とも）
一部商経学部（3 学科とも）
一部理工学部（11 学科とも）
薬学部（薬学科）
文芸学部（文化学科）
農学部（農学科、水産学科、農芸化学科、食品栄養学科食品科学専攻）
医学部（医学科）
生物理工学部（生物工学科、遺伝子工学科、基礎機械工学科）
工学部（建築学科、電子情報工学科）
九州工学部（建築学科）

- 2 商経学部は、専任教員一人当りの学生数が極めて多く、臨時的定員を含めると専任教員数が不足しているのでは是正されたい。
- 3 生物理工学部は、70 歳以上の教員を除くと専任教員数が大学設置基準を満たしていないのでは是正されたい。
- 4 法学部、商経学部、生物理工学部においては、在籍学生一人当りの講義室・演習室面積が狭隘なので是正されたい。
- 5 中央図書館、農学部図書館の学生用閲覧座席数が不足しているので是正されたい。

三、参考意見

相互評価委員会において、以下のような意見が示されたので参考とされたい。

- 1 法学部経営法学科について、学部理念との整合性および法律学科との相違という点で、必ずしもコンセンサスが充分にとれているとはいえない状況が伺われる。
- 2 商学研究科・経済学研究科においては、点検・評価報告書における大学院の理念・目的の記述が簡略すぎて、大学の理念・目的との関連づけが不明である。
- 3 文芸学研究科における「超ジャンルの、学際的」教育・研究という理念・目的を達成するために、さまざまな工夫がなされていることは評価できる。一方、学術研究機関、研究者養成機関としての役割を十分果たし得るよう一層努力されたい。
- 4 薬学部の「推薦入試」では学科試験を課しているが、「推薦入試」においては学部が目指す本来の資質に合わせる選抜方式を工夫する必要がある。
- 5 商経学部の専門科目はすべて選択科目であるが、科目選択の指針を与えるなど、系統だった学修が保障されるよう配慮されたい。
- 6 医学部においては、シラバスにやや統一性が欠け、学生が理解しにくい点もあると思われるので、改善が望まれる。
- 7 農学部においては、情報化に対応したカリキュラム、少人数教育、対話型教育が不十分に見える。
- 8 大学院医学研究科の学生の論文発表は、学内紀要に集中しているが、厳格なレビューが行われている専門誌（国内外）に投稿するよう指導することが望まれる。
- 9 法学部並びに生物理工学部においては、教員の年齢構成にアンバランスがあるので是正されたい。
- 10 生物理工学部では、教員の募集、任免、昇格に関する基準が明確化されていないので是正が望まれる。
- 11 薬学部において、各研究室には十分なスタッフが配置されるのが望ましい。

- 12 現在、工学部においては、学舎が東広島と呉に分かれていることによる設備設置とその利用、研究交流、教育交流等に多くの問題点が見受けられる。2001年8月に予定されている学舎統合について、その着実な実行が望まれる。
- 13 学生一人当りの図書館蔵書数が私立大学平均より少ないので是正されたい。